

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月2日

【四半期会計期間】 第64期第2四半期  
(自 2020年5月21日 至 2020年8月20日)

【会社名】 株式会社 平和堂

【英訳名】 HEIWADO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 平 松 正 嗣

【本店の所在の場所】 滋賀県彦根市西今町1番地

【電話番号】 (0749)23-3111 (代表)

【事務連絡者氏名】 財務部長 谷 川 善 弘

【最寄りの連絡場所】 滋賀県彦根市西今町1番地

【電話番号】 (0749)23-3111 (代表)

【事務連絡者氏名】 財務部長 谷 川 善 弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第2四半期 連結累計期間	第64期 第2四半期 連結累計期間	第63期
会計期間	自 2019年2月21日 至 2019年8月20日	自 2020年2月21日 至 2020年8月20日	自 2019年2月21日 至 2020年2月20日
営業収益 (百万円)	213,328	212,347	433,641
経常利益 (百万円)	5,858	6,425	11,380
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	3,748	3,847	6,101
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,254	3,252	6,367
純資産額 (百万円)	157,884	162,332	160,075
総資産額 (百万円)	288,392	288,865	297,025
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	71.46	73.36	116.32
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.9	55.5	53.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	12,143	16,752	17,226
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	9,282	5,809	21,674
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,052	11,966	3,739
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	17,861	17,590	18,285

回次	第63期 第2四半期 連結会計期間	第64期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年5月21日 至 2019年8月20日	自 2020年5月21日 至 2020年8月20日
1株当たり四半期純利益 (円)	42.88	66.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益は、売上高と営業収入を合計した金額を表示しております。営業収益には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間及び本四半期報告書提出日（2020年10月2日）現在において前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、以下の追加すべき事項が生じています。

（追加事項）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お客様及び従業員等の健康と安全を最優先として感染防止に取り組んでおります。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束のまでの期間によっては、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2020年2月21日から2020年8月20日まで）におけるわが国経済は、2019年10月に実施された消費税率引き上げの影響や新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動は冷え込み、景気は急速に悪化しております。

当小売業界におきましては、「巣ごもり消費」により食品中心に一部の押し上げ要因はありましたが、消費税率引き上げによる個人消費の低迷、新型コロナウイルスの世界的大流行による移動制限及び各種イベントの中止・縮小により需要が減少し、消費環境は厳しい状況となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,123億47百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益58億11百万円（前年同期比4.8%増）、経常利益64億25百万円（前年同期比9.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、38億47百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [小売事業]

グループ中核企業である「株式会社平和堂」は、「巣ごもり消費」による食品の伸長、野菜の相場高の効果などもあり増収となりました。「新しい生活様式」に準じた費用や投資の見直し、営業業務改革推進プロジェクトや本部業務改革推進プロジェクトといった部署を中心に、店舗・本部の作業時間削減に向けた取り組みの強化により費用を大幅に削減し増益となりました。

中国湖南省で小売事業を展開する「平和堂（中国）有限公司」は、新型コロナウイルス感染拡大による休業、不採算店舗閉店の影響もあり減収・経常減益となりました。

滋賀県でスーパーマーケットを展開する「株式会社丸善」は、「巣ごもり消費」により増収となったものの、不採算店舗閉店による特別損失計上により四半期純利益が減益の結果、赤字決算となりました。

書籍、CD・DVD販売やCD・DVD、コミックのレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、「巣ごもり消費」により書籍販売が好調であったものの、前期より立ち上げた新規フィットネス事業が新型コロナウイルス感染拡大により休業を余儀なくされ、増収・経常減益の赤字決算となりました。

小売事業連結営業収益	2,038億65百万円	(前年同期比 0.5%増)
小売事業連結経常利益	80億37百万円	(前年同期比 30.5%増)

## [小売周辺事業]

惣菜・米飯および生鮮品の製造加工を営む「株式会社ベストオーネ」は、小売事業の好調に支えられ増収となりましたが、前期に稼働した久御山食品センターの費用増加により経常減益となりました。

ビル管理事業を営む「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規外部物件の受注獲得により増収となりましたが、外注作業費の増加により経常減益となりました。

小売周辺事業連結営業収益	27億円	(前年同期比	2.5%減)
小売周辺事業連結経常損失	1億40百万円	(前年同期経常利益	6億53百万円)

## [その他事業]

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、新型コロナウイルスの感染拡大による環境変化が影響し減収・経常減益となりました。

その他事業連結営業収益	57億81百万円	(前年同期比	24.6%減)
その他事業連結経常損失	3億85百万円	(前年同期経常利益	2億4百万円)

## (2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ81億60百万円減少し、2,888億65百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が17億31百万円、現金及び預金が15億63百万円、商品及び製品が21億94百万円、投資有価証券が7億30百万円、無形固定資産が5億45百万円減少したこと等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ104億17百万円減少し、1,265億32百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が18億85百万円、長期借入金が16億61百万円増加した一方で、短期借入金が126億9百万円、設備関係電子記録債務が26億50百万円減少したこと等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ22億57百万円増加し、1,623億32百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が29億3百万円増加したこと等であります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ6億95百万円減少し、175億90百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は、前年同期に比べ46億8百万円増加し、167億52百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益9億33百万円、仕入債務の増減額が5億21百万円増加した一方、たな卸資産の増減額11億23百万円、法人税等の支払額7億51百万円、売上債権の増減額6億24百万円減少したこと等あります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、前年同期に比べ34億72百万円減少し、58億9百万円となりました。この主な要因は、定期預金の純増減額が14億66百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出が13億6百万円減少したこと等あります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、前年同期に比べ79億13百万円増加し、119億66百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の純増減額の93億30百万円、長期借入金の返済による支出が46億83百万円減少したこと等あります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (2020年10月2日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	58,546,470	58,546,470	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	58,546,470	58,546,470		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年8月20日		58,546,470		11,614		19,017

(5) 【大株主の状況】

2020年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対 する所有株式数 の割合(%)
夏原 平和	滋賀県彦根市	4,726	9.01
公益財団法人平和堂財団	滋賀県彦根市西今町1番地	3,000	5.72
平和堂共栄会	滋賀県彦根市西今町1番地	2,913	5.55
株式会社滋賀銀行	滋賀県大津市浜町1番38号	2,500	4.77
株式会社ピース&グリーン	滋賀県彦根市西今町40番地1	1,950	3.72
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	1,861	3.55
平和観光開発株式会社	滋賀県彦根市鳥居本町2958	1,694	3.23
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,536	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信 託口4)	東京都中央区晴海1丁目8-12	1,457	2.78
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	1,024	1.95
計		22,664	43.21

- (注) 1 平和堂共栄会は当社の取引先を会員とする持株会であります。  
2 当社は、自己株式6,097千株を保有しておりますが、上記大株主より除いております。  
3 当第2四半期会計期間において、三井住友信託銀行及びその共同保有者である三井住友トラスト・アセット  
マネジメント株式会社、日興アセットマネジメント株式会社から2020年7月6日付で関東財務局長に提出さ  
れた大量保有報告書により、2020年6月30日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けており、その  
内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	569	0.97
三井住友トラスト・アセッ トマネジメント株式会社	東京都港区芝公園1丁目1番1号	2,333	3.99
日興アセットマネジメント 株式会社	東京都港区赤坂9丁目7番1号	513	0.88

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,097,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 52,415,900	524,159	
単元未満株式	普通株式 33,570		(注)
発行済株式総数	58,546,470		
総株主の議決権		524,159	

(注) 「単元未満株式」欄には当社(株)平和堂)所有の自己株式19株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) (株)平和堂	滋賀県彦根市西今町1番地	6,097,000	-	6,097,000	10.41
計		6,097,000	-	6,097,000	10.41

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年5月21日から2020年8月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年2月21日から2020年8月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwC京都監査法人により四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,528	20,965
受取手形及び売掛金	6,491	6,041
商品及び製品	19,867	17,673
原材料及び貯蔵品	175	174
その他	5,381	4,784
貸倒引当金	5	4
流動資産合計	54,439	49,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	93,870	91,352
土地	96,337	96,309
その他(純額)	9,127	9,940
有形固定資産合計	199,334	197,603
無形固定資産		
のれん	873	840
借地権	5,527	5,463
その他	3,630	3,182
無形固定資産合計	10,031	9,486
投資その他の資産		
投資有価証券	4,815	4,084
敷金及び保証金	20,412	20,176
繰延税金資産	4,440	4,488
その他	3,856	3,696
貸倒引当金	305	305
投資その他の資産合計	33,219	32,140
固定資産合計	242,585	239,230
資産合計	297,025	288,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,283	32,168
電子記録債務	408	-
短期借入金	29,907	17,298
未払法人税等	1,899	2,939
賞与引当金	1,378	1,416
ポイント引当金	7,482	7,762
利息返還損失引当金	75	67
閉店損失引当金	693	69
設備関係電子記録債務	3,463	812
その他	22,730	23,936
流動負債合計	98,323	86,473
固定負債		
長期借入金	16,805	18,466
退職給付に係る負債	8,681	8,604
資産除去債務	3,274	3,303
受入敷金保証金	8,925	8,742
繰延税金負債	71	109
その他	868	832
固定負債合計	38,627	40,058
負債合計	136,950	126,532
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,748	19,748
利益剰余金	135,814	138,718
自己株式	12,310	12,310
株主資本合計	154,866	157,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,324	969
為替換算調整勘定	1,607	1,390
退職給付に係る調整累計額	170	222
その他の包括利益累計額合計	3,101	2,581
非支配株主持分	2,106	1,981
純資産合計	160,075	162,332
負債純資産合計	297,025	288,865

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
営業収益		
売上高	199,730	199,296
営業収入	13,597	13,051
営業収益合計	213,328	212,347
売上原価	140,864	140,649
売上総利益	58,865	58,647
営業総利益	72,463	71,698
販売費及び一般管理費	1 66,916	1 65,887
営業利益	5,547	5,811
営業外収益		
受取利息	170	157
受取補助金	62	150
その他	162	398
営業外収益合計	395	706
営業外費用		
支払利息	21	20
支払補償金	-	24
為替差損	48	8
雑損失	-	28
その他	14	10
営業外費用合計	84	92
経常利益	5,858	6,425
特別利益		
閉店損失引当金戻入額	-	124
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	-	440
その他	-	18
特別利益合計	0	586
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	-	2 212
固定資産除却損	126	56
閉店損失引当金繰入額	16	4
減損損失	13	65
投資有価証券評価損	-	21
その他	-	16
特別損失合計	156	376
税金等調整前四半期純利益	5,702	6,635
法人税等	1,891	2,851
四半期純利益	3,810	3,784
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	62	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,748	3,847

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
四半期純利益	3,810	3,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	355
為替換算調整勘定	261	228
退職給付に係る調整額	107	51
その他の包括利益合計	556	531
四半期包括利益	3,254	3,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,205	3,327
非支配株主に係る四半期包括利益	48	75

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,702	6,635
減価償却費	5,389	5,692
のれん償却額	33	33
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	100	1
閉店損失引当金の増減額(は減少)	182	618
受取利息	170	157
支払利息	21	20
固定資産除却損	126	56
売上債権の増減額(は増加)	178	446
たな卸資産の増減額(は増加)	1,045	2,168
仕入債務の増減額(は減少)	1,020	1,541
預り金の増減額(は減少)	1,068	1,383
その他	439	1,086
小計	14,415	18,288
利息及び配当金の受取額	198	178
利息の支払額	23	20
法人税等の支払額	2,446	1,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,143	16,752
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	1,159	307
有形及び無形固定資産の取得による支出	8,189	6,883
長期前払費用の取得による支出	13	13
敷金及び保証金の差入による支出	7	79
敷金及び保証金の回収による収入	263	334
その他	175	523
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,282	5,809
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	30	9,300
長期借入れによる収入	4,300	5,000
長期借入金の返済による支出	11,331	6,647
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	944	944
コマーシャル・ペーパーの純増減額(は減少)	4,000	-
その他	106	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,052	11,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	328
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,295	695
現金及び現金同等物の期首残高	19,156	18,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 17,861	1 17,590

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関借入等に対して、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (2020年2月20日)		当第2四半期連結会計期間 (2020年8月20日)	
(株)サニーリーフ	97百万円	(株)サニーリーフ	96百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
販売諸経費	10,363百万円	9,342百万円
給料及び手当	28,781	29,296
賞与引当金繰入額	1,377	1,416
退職給付費用	823	724
賃借料	6,654	6,346
減価償却費	5,389	5,634
のれん償却額	33	33
その他	13,493	13,093

2 新型コロナウイルス感染症による損失

前第2四半期連結累計期間(自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)

店舗を休業したことによる人件費やその他経費を特別損失として計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
現金及び預金	22,750百万円	20,965百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	4,889	3,374
現金及び現金同等物	17,861	17,590

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月16日 定時株主総会	普通株式	944	18	2019年2月20日	2019年5月17日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月3日 取締役会	普通株式	891	17	2019年8月20日	2019年11月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月14日 定時株主総会	普通株式	944	18	2020年2月20日	2020年5月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年10月1日 取締役会	普通株式	891	17	2020年8月20日	2020年11月2日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	小売	小売周辺	計				
営業収益							
外部顧客への売上高	202,886	2,769	205,656	7,671	213,328	-	213,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,953	16,261	22,214	46	22,261	22,261	-
計	208,840	19,031	227,871	7,718	235,589	22,261	213,328
セグメント利益	6,159	653	6,813	204	7,017	1,159	5,858

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レストランやホテル等の運営事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,159百万円は、受取配当金の取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	小売	小売周辺	計				
営業収益							
外部顧客への売上高	203,865	2,700	206,565	5,781	212,347	-	212,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,941	18,348	24,289	171	24,461	24,461	-
計	209,807	21,048	230,855	5,953	236,809	24,461	212,347
セグメント利益 又は損失( )	8,037	140	7,897	385	7,512	1,086	6,425

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レストランやホテル等の運営事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 1,086百万円は、受取配当金の取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年8月20日)
1株当たり四半期純利益	71円46銭	73円36銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	3,748	3,847
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	3,748	3,847
普通株式の期中平均株式数(株)	52,449,841	52,449,540

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第64期(2020年2月21日から2021年2月20日まで)中間配当については、2020年10月1日開催の取締役会において、2020年8月20日最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を支払うことについて決議いたしました。

配当金の総額	891百万円
1株当たり配当金	17円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年11月2日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月1日

株式会社 平和堂  
取締役会 御中

### PwC 京都 監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 山本 眞吾 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 野村 尊博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社平和堂の2020年2月21日から2021年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年5月21日から2020年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年2月21日から2020年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社平和堂及び連結子会社の2020年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。